

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名: 環境生活部

1 指定管理者の概要等

施設の名称および所在	三重県交通安全研修センター（津市垂水 2566 番地）
指定管理者の名称等	一般財団法人三重県交通安全協会 会長 西野 衛 （津市栄町 1 丁目 954 番地）
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 三重県交通安全研修センターの運営業務 2 三重県交通安全研修センターの維持管理業務 3 三重県交通安全研修センターの管理上必要な業務 4 その他の業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	B		<p>職員による日々の始業前機器設備点検作業、迅速な小規模修繕、体験学習ゾーンのブラッシュアップ等に加え、定期的な防災訓練・避難誘導訓練を実施しており、適切な施設管理を行っている。</p> <p>時勢の懸案事項、法改正等を的確に周知するため創意工夫した展示スペースの充実に努めている。</p> <p>施設自体の充実に加えて、施設の案内人として接遇研修を受講した「セーフティ・プラザ・コンシェル」を配置し、さらなる利用者サービス向上に努めている。</p> <p>令和元年度後半からは、利用者の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策について適切に対処し、安全安心な施設運営に努めている。</p>
H29	B		
H30	B		
R元	B		
R2	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	B		<p>研修予約状況をホームページで公開するなど利用しやすい施設づくりを行っているほか、時節に応じた特別研修の企画、新規利用者開拓のために三重県交通安全協会のネットワークを活かした事業所訪問、SNSを活用した情報提供を実施するなど、きめ細かな対応を行っている。</p> <p>また、全国的に問題となっている高齢者の事故防止対策として市町等と連携した「パーク・アンド・バスライド方式シニアラーニング」を新たに実施するなど利用者拡大を常に意識している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減に対応すべく交通安全DVD貸出拡充にも取り組んでいる。</p>
H29	B		
H30	B		
R元	B		
R2	C		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	201,283,807	事業費	61,844,069
利用料金収入	0	管理費	133,531,566
その他の収入	1,076	その他の支出	0
合計 (a)	201,284,883	合計 (b)	195,375,635
収支差額 (a)-(b)	5,909,248		

※参考

利用料金減免額	-
---------	---

5 成果目標およびその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標およびその実績						
			成果目標項目	目標値 (R2)	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R元 実績値	R2 実績値
H28	B		一般利用者数	43,000 人	54,178 人	46,776 人	44,802 人	42,002 人	9,905 人
H29	B		団体研修受講者数	5,500 人	5,744 人	4,778 人	5,103 人	4,777 人	1,536 人
H30	B		指導者養成・資質向上講座受講者数	1,700 人	1,731 人	1,839 人	1,715 人	1,679 人	592 人
R元	B		研修により行動変容・意識変容があったと回答した受講者の割合	100%	90.5%	97.9%	99.1%	97.6%	96.8%
R2	C								
全期間におけるコメント									
<p>幼児から高齢者に至るまで、受講者の特性に応じた参加・体験・実践型の交通安全教育などを実施した結果、「一般利用者数」「団体研修受講者数」「指導者養成・資質向上講座受講者数」については、平成30年度まで成果目標は概ね達成することができている。</p> <p>また、令和元年度、令和2年度に未達成となった要因についても外部要因（新型コロナウイルス感染症の拡大）によるものと考えている。</p> <p>「研修により行動変容・意識変容があったと回答した受講者の割合」については、目標の100%は達成できなかったが、概ね95%以上を超える高い水準で推移している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についても対策を徹底するなど、安全安心な施設運営に努めていることから全体として適切な管理運営が行われたと評価できる。</p>									

6 総括評価

- ホームページを活用した研修予約を実施するなど利用しやすい環境づくりを行っているほか、「自転車交通安全教育指導者研修会」「夜間特別研修（ナイトスクール）」等、時節に応じた特別研修やイベントを企画するとともに、新規利用者開拓のため（一財）三重県交通安全協会のネットワークを生かした事業所訪問を実施するなど、きめ細かな対応を行っており、利用者サービスの向上や利用者拡大を常に意識している。
- 全国的に大きな問題となっている高齢者の事故防止対策として市町等と連携した「パーク・アンド・バスライド方式シニアラーニング」を積極的に実施するなど利用者ニーズを意識している。
- 令和元年度後半からは新型コロナウイルス感染症の影響により利用状況が低下しているが、利用者の感染防止対策等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について適切に対処しており、安全安心な施設運営に努めている。
- 危機管理マニュアルを整備し、防災訓練・避難誘導訓練を定期的に行い、職員の防災・危機管理関連資格取得を促進するなど、常に安全・安心な施設づくりを意識して管理運営を行っている。
- 県民のニーズを把握し、きめ細かなサービスの提供や魅力ある事業展開に努めており、専門的かつ高度な参加・体験・実践型教育を提供できる県交通安全教育の中核施設として管理運営されているものと評価する。

- ※「2 管理業務の実施状況」の自己評価：
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※「3 施設の利用状況」「5 成果目標およびその実績」の自己評価：
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※県の評価：
- 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。